

事業番号	0	9	5
実施計画事業			
実施計画事業以外の事業	○		

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	男女共同参画講座開催事業				担当部	教育委員会事務局					
事業期間	平成29年度 ~ 令和2年度以降				担当課	まなび創造館					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	17	展開方向	2							
予算区分	一般会計	款	10 教育費	項	05	目	10	大	04	中	03

2. 実施状況

◆平成30年度実施内容

◎男女共同参画講座の実施

男女共同参画に関する基本的な知識を学びながら、男女共同参画普及員などの人材を育成する講座をはじめ、出産や育児を期に離職した女性に対する再就職支援や男性を対象にした家庭生活への参画を促すための主に以下の講座を実施した。

- 男女共同参画講座 1講座1~5回で14講座開講。受講者数387人。
- 男性支援講座 1講座1~5回で6講座開講。受講者数16組と65人。
- 就労支援講座 1講座1~3回で3講座開講。受講者数71人。
- 企業啓発講座 1講座1回開講。受講者数55人。
- 男女共同参画講演会 1回開催。受講者数331人。講師 鈴木おさむ(放送作家)。

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1	
事業費	直接経費	財源	一般財源	千円	-	-	2,060	1,642
			国・県支出金	千円	-	-	0	0
			その他	千円	-	-	336	339
		計(A)	千円	-	-	2,396	1,981	
		対前年比	%	-	-	-	82.7%	
		(当初)予算額	千円	-	-	3,531	3,285	4,842
	人件費	正職員	人	-	-	0.1	0.1	
		正職員(平均賃金)	千円	-	-	749	749	
		その他職員	人	-	-	0.1	0.1	
		その他職員(時給×時間)	千円	-	-	18	18	
計(B)		千円	-	-	767	767		
事業費合計(C=A+B)		千円	-	-	3,163	2,748		
指標	成果指標	男性が受講できる講座の申込率(%)	目標	-	-	80.0	80.0	80.0
			実績	-	-	169.4	111.5	
		男女の区別なく活動できていると思う市民の割合(%)	目標	-	-	58.4	58.4	58.4
			実績	-	-	59.0	-	
	活動指標	男性が受講できる講座数	目標	-	-	2	3	5
			実績	-	-	3	6	
		男女共同参画をテーマとした各種講座講演の参加者数	目標	-	-	1,400	1,400	1,400
			実績	-	-	1,380	1,616	
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	1,380	1,616	
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	2,292	1,701	

診断結果	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	<p>平成30年度は、男性の家庭生活参画を促すための男性支援講座、女性活用と女性のキャリア形成を促すための企業啓発講座を実施した。活動指標「男性を対象とした講座の申込率」は、目標値に対して実績値が上回っており、これは、男性支援講座を開催することによって、性別による役割を固定化する考え方の解消に向けた取り組みが一定の成果を挙げていることを裏付けるものである。また、成果指標「男女共同参画をテーマとした各種講座講演の参加者数」は、前年度を上回っている。</p> <p>令和元年度は、周知方法という課題を解決するために、従来の広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込み、メール、ファクスでの申し込みの実施する。</p>			

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
削減額・対象	事務事業評価による額	0千円	予算区分	節	節
評価結果	<p>全体としての事業費は、事業による一定の成果を維持しながら、全国女性会館協議会をはじめ、国や県、企業との協働で講座開催ができるよう努める。固定的な性別役割分担意識の解消、あらゆる分野への男女共同参画の促進をはかるため、継続的にして事業を実施する。今後もターゲットを絞って講座を企画し、開催していく。</p>				